

# 無量壽

平成22年1月1日  
浄土真宗 本願寺派  
林徳寺 発行  
025 - 276 - 3456

## 浄土真宗物語⑬

本願寺第三代の覚如上人は、それまでの親鸞聖人の廟堂を「本願寺」という独立した寺院とし、親鸞聖人の教えを「浄土真宗」という独立した宗とされることに大きな貢献をされました。ですから、現在の浄土真宗の実質的な開祖は覚如上人だと言っても良いでしょう。親鸞聖人は、自分の教えはあくまでも法然上人の教えそのものであるとされました。ですから新しい宗を開こうという様な意志は全くお持ちではなかったのです。



親鸞・如信・覚如三上人像 (重文)

覚如上人は、前回も書いた様に如信様(親鸞聖人の孫)から親鸞聖人の教えを受け継がれました。そこで、この如信様を本願寺第二代と数えています。

覚如上人は、そのほかに親鸞聖人の晩年のお弟子である、唯円様からも教えを受けておられます。唯円様は、『歎異抄』という、浄土真宗において最も有名と言っても良い書物の著者として知られています。覚如上人に親鸞聖人の教えを伝授された時、唯円様は六十歳程だったと言われています。その頃親鸞聖人の教えは、年月と共に様々に誤った形に変化しつつあった様で、その事を歎いて、間違いない親鸞聖人の教えを、自らが聖人からお聞きしたそのままに書き残そうとして書かれたのが『歎異抄』です。

その著者から直接教えを聞かれたのですから、覚如上人はまさに、親鸞聖人の教えの間違いない後継者であったと言えます。

このように正しく聖人の教えを受け継がれた覚如上人は、その教えをそのまま後世に伝え続けることの大切さを考えて、先に書きました様に、本願寺の「寺」としての独立、浄土真宗の「宗」としての独立を目指されたのです。



西本願寺の西山別院

このほかの覚如上人の功績としては、現在も浄土真宗の寺院が毎年必ず行っている、報恩講法要の由来となった『報恩講私記』の著述があります。そしてその

報恩講法要で本堂にお掛けする『御絵伝』も、覚如上人がお作りくださいました。

覚如上人の廟所は、西本願寺の西山別院にあります。この別院は、覚如上人が創建された久遠寺を引き継ぐお寺で、その本堂は、現在の西本願寺阿弥陀堂が建立されるまでの、本願寺旧本堂です。浄土真宗の門徒としては、一度は参拝して頂きたいものです。

続く

# 大谷本廟

## 七百五十回大遠忌法要

平成二十一年十月十二日から五日間、京都市東山区の大谷本廟で親鸞聖人750回大遠忌法要が行われました。大谷本廟は、親鸞聖人をはじめ、歴代御門主の廟所（お墓）となっている施設です。本来の750回大遠忌法要は、平成二十三年四月から二十四年の一月にかけて、本山である西本願寺で営まれますが、それに先駆けての法要が本廟で修行されたと言うことです。

現在本廟の最高責任者である本廟局長を勤めているのは、新潟市西区（旧巻町）の長厳寺住職である阿部慶一師です。

そのため、地元から一人でも多く参拝に来て欲しいという願いを受け、住職も参拝に行つて来ました。

初日である十月十二日の法要に参拝しましたが、晴天に恵まれ、素晴らしい法要になりました。

聖人の廟所の、祖壇の



本廟局長の庭儀

拝殿である明著堂前に、千八百人が座れるテント席が作られました。その間の通路を、最初に稚児行列が通ります。と言つても、子どもよりその保護者が目立つ行列でしたが…



稚児行列

厳かに庭儀を行われました。

庭儀終了後、御門主様を導師に「宗祖讚仰作法第二種」を用いた法要となりました。

最後に御門主のお言葉があつて全てが終了となる二時間半



御門主のお言葉

ほどの日程でしたが、参拝できたことを、本当に有難く思っています。

### 日本語になった仏教の言葉 ⑮

#### 《悲願》

今年日本文理高校が、新潟県民「悲願」の甲子園決勝進出を成し遂げました。この悲願という言葉は、心からの願い、まことの願いを意味する言葉としてよく使われます。

言うまでもなくこの言葉は、「大悲の本願」を略した言葉で、浄土真宗では阿弥陀仏の御本願を言います。

親鸞聖人は『念仏正信偈』に

西方不可思議尊 法蔵菩薩因位中

超殊殊勝本弘誓 建立無上大悲願

と、阿弥陀仏が法蔵菩薩の時、無上大悲の本願をたてたもうたことをお示しになっておられます。母の悲願に生きる子どもこそ、真実、幸せな子どもであるように、私もは、日々、如来大悲の御本願に生かされる生活にこそ、真実の幸せを得させていただくことです。

親鸞聖人の「大悲の願船に乗じて、光明の広海に浮かびぬれば、至徳の風、静かにして、衆禍の波転ぜず」とのおよろこびを、私のよろこびとしたいものです。

諸仏の護念証誠は 悲願成就のゆへなれば 金剛心をえんひとは 弥陀の大恩報ずべし

『私たちの言葉』經合昇隆より